事業名		10	部局	建設部						
Ŧ * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		担当	課·室	砂防課						
<参考>	プロジェクト	地域防災力	0.0 L	課	E-mail	sabo@p	<u>ref.nagano.</u>	lg.jp		
総合5か年 計画	施策の総合的展開 4-1 4	<u> </u>	 E施期間	S27	~					
事業の	<u> </u>	<u> Д</u>	Pars, 2 ()			021				
・事未の	恢 <del>安</del> 									
目指す姿	地すべり等防止法第3条により	指定された	地すべり防止区域内において施行する地	也すべり	防止工事	で、国庫補助	の対象になら	ない事業		
日拍9安	を実施して地すべりによる被害	を除却し、	又は軽減し、県土の保全と民生の安定に	資するこ	とを目的と	ごする。				
*D 15	文付金対象とはならない箇所に を付金対象とはならない	こおいて、 봐	りすべりによる被害を除却又は軽減するた	めに排	水工、排-	上工、 杭打工	三等の防止施証	ひの設置に		
現状	交付金対象とはならない箇所において、地すべりによる被害を除却又は軽減するために排水工、排土工、杭打工等の防止施設の設置に 努めている。									
	■ 注入放关数 □ 中却然四	口但不是	いよいび中央マコリナシの説明 担加汁	<b>△</b>						
県が関与	■法令等義務 □内部管理 □県でなければ実施不可【左記の説明、根拠法令等】 □民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 地すべり等防止法									
する理由	□その他(									
	① 成果目標(H24)		1							
	地すべり防止施設の整備を行い、地すべりによる災害から県民の生命・財産を保全する。									
	地すべり施設の整備を行い	、平成24年	の目標達成に向けて保全人家戸数を13,4	469戸ま	で増加され	せる。				
	② 事業内容 (単位:千									
	項目	実施方法	H24事業実績			H24		H25		
		夫爬刀伝				(当初)	(決算)	(当初)		
	県単地すべり対策事業	直接	須沢区域他26箇所において観測及び法 設等を整備した。	:面上、	<b>非水</b> 施	55,700	161,806	51,800		
事業内容										
事業内容										
事業内容										
事業内容										

	区		分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	予 算 — 額 _		前年度繰越	124,815	81,925	80,398	52,882
			当初予算	57,800	57,600	55,700	51,800
事業			補正予算	189,430	138,367	78,590	
			合計(A)	372,045	277,892	214,688	104,682
^			国庫支出金	127,910	6,000	0	
⊐	Aの 財源		県 債	19,000	123,000	170,000	46,000
_		į	その他(繰入金)	179,900	71,585		
ス			一般財源	45,235	77,307	44,688	58,682
۲	決	筝	算 額(B)	284,520	197,493	161,806	
	概	算	職員数(人)	2.61	1.88	1.26	0.58
	人件	費	概算人件費 (C)	_	-	_	_
	概算事業費(B(A)+C)		284,520	197,493	161,806	104,682	

成果目標の達成状況							
項目	現況 (見込)		H25				
グロ		目標	成果	達成状況	目標		
保全人家戸数	13,416戸	13, 469戸	13,683戸	達成	<u> </u>		
事業実施	12箇所	_	_	-	12箇所		

目標に対する成果 の状況

地すべり施設の整備を行い、平成24年度末において13,683戸の人家が保全でき、期待どおりの成果が得られた。

## 2 今後の事業の方向性

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

今後、事業 をどのよう は形が急峻で脆弱な地質構造をしている長野県では毎年のように地すべり災害が発生しており、地域住民の生命・財産を保護するため 当事業は必要不可欠である。要整備箇所は依然として多い状況にあり、地すべり防止工事の施工は、他の主体が行うことは現実的に困難なため、引き続き県の施行により、箇所毎に事業内容を精査し、効率的、効果的に整備を行っていく必要がある。